



千葉開府900年 今月のイチオシ

今年、開府900年という大きな節目を迎える千葉市では、さまざまな取り組みを進めています。900年を記念して行う今月のイチオシ情報をご案内します。
詳しくは、[千葉開府900年](#)

デジタル郷土史コンテンツ「千葉市タイムトラベル」公開！

市内の小学生を主な対象に、郷土の歴史をデジタルで学べる新コンテンツ「千葉市タイムトラベル」を作成しました(4月公開予定)。

縄文時代から現代までの千葉市の歩みを章ごとにわかりやすく紹介。バーチャル空間で加曽利貝塚や亥鼻公園を巡ったり、3D地図でまちの変遷を眺めたりと、デジタルならではの体験が満載です。

子どもだけでなく大人も楽しみながら千葉市の歴史に触れることができるので、ぜひご覧ください。

閩都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5534



「千葉市タイムトラベル」ホームページはこちら

デジタルで学んだ後は、現地に行って知識のフカボリをしてみよう!



画像は制作中のイメージです。

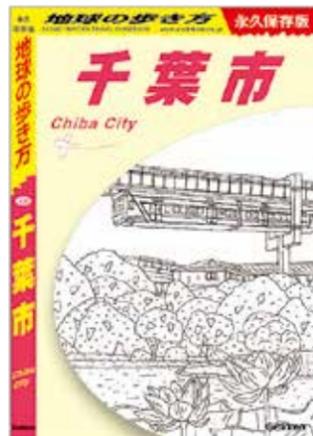
「地球の歩き方 千葉市」表紙デザイン決定！

千葉開府900年を記念して、5月にガイドブック「地球の歩き方 千葉市」が発行されます。

昨年12月から1カ月間にわたり皆さんに投票していただいた表紙デザインが決定しました。投票総数751件のうち、最も票が多かったデザインは、懸垂型として世界一の営業距離を誇る「千葉都市モノレール」でした。

詳しくは、[地球の歩き方 千葉市](#)

閩観光プロモーション課 ☎245-5066 FAX245-5558



表紙デザイン案(色付け作業前)

新しい日本庭園とともに いのはな亭がリニューアルオープン！

4月1日(水)に、いのはな亭がリニューアルオープンします。日本庭園の全面改修を行い、風情ある庭園を散策しながら、千葉城と桜が眺められるようになりました(茶店の通年営業は6月に再開予定です)。

千葉城さくら祭りにあわせて、茶店の臨時営業やプロカメラマンによる記念撮影サービス「亥鼻写真館」を行います。



画像はイメージです

茶店の臨時営業

団子や日本酒、クラフトビールなどを提供します。

日時 4月1日(水)～4月5日(日)12:00～17:00

亥鼻写真館

全面改修した日本庭園で、千葉城と桜を背景に記念撮影を行います。撮影した写真データは無料で提供します。

日時 4月4日(土)・5日(日)12:00～17:00

閩公園管理課 ☎245-5777 FAX245-5885

千葉開府

900年への道



十五、2026年は千葉開府900年—記念事業の想い—

千葉開府900年記念期間に入りました。6月1日の「千葉開府の日」が目前に迫るこの時期に、改めて千葉のまちの魅力に思いをはせてみると、長きにわたり受け継がれてきたものから新たなものまで、さまざまな魅力があふれていることに気づきます。

ワシも亥鼻の地で盛り上げておろぞ!

ちばのすけ 千葉介



大昔から人々の暮らしが持続的に営まれた「加曽利貝塚」、世界最古の花「オオガハス」、昔も今も千葉の産業を支え、憩いの場でもある「海辺」、プロスポーツチーム、大学を始めとした文教のまち、豊かな自然が広がるチバノサト、音楽フェスや大規模イベントなど、ほかにも思い浮かぶものがいくつもあると思います。

多くのまちの魅力を皆さんと共有し、新たな時代へ踏み出す一歩にしたい。この想いのもと、千葉開府900年記念事業は進められています。6月の記念式典や記念まつり、11月のパレードは、まちの歴史を振り返り、今を見つめ直し、記憶として残すとともに、未来への決意を新たにできる機会として開催します。

また、未来を担う人材の育成にも取り組んでいます。昨年度から始まった、自ら途を切り拓くマインドとスキルを高める高校生対象のアントレプレナーシップ特別研修プログラムや、起業家向け海外実践研修では、今年度いよいよ海外などでの挑戦に臨みます。文化・スポーツ・歴史の分野でも、美術館や郷土博物館での特別展、千葉開府の歴史にちなんだ大椎～亥鼻間の記念サイクリング・ウォーキングイベントなどを行います。

これら以外にも、千葉氏とも縁の深い亥鼻公園内のいのはな亭が日本庭園と合わせてリニューアルする【左記】ほか、パレードルートとなる中央公園プロムナードの再編など、次の世代へつなぐまちづくりを推進します。

千葉開府記念事業は1926(大正15)年の開府800年以降50年ごとに行われ、いずれも、人とまちの過去・現在・未来をつなぐ節目として重要な役割を果たしてきました。市民や企業、団体など市に関わる多くの方とともに多彩な取り組みを進めておりますので、ぜひ一緒に盛り上げていきましょう。